

3月3日 耳の日 6月6日 補聴器の日 9月9日 人工内耳の日 9月23日 手話言語国際デー

ヒトヒト感染

新型コロナウイルス 世界中に拡大

1. 拡大の経過と規制

— 自分で身を守る予防策を実行しよう —

- ・中国湖北省武漢市発の新型肺炎の感染が世界中に猛威、国内でも感染者が増加しつつあります。
- ・もともと武漢市では昨年12月8日に、最初の患者が発生したが「人から人への感染はない」とされ、患者を生んだ海鮮市場は今年1月1日閉鎖。
- ・その後、1月23日から人口1100万人の武漢市は交通遮断されました。折しも中国は1月25日から春節(旧正月)で、民族大移動の時期にあたりました。
- ・日本へのインバウンドも多くが予想されましたが、海外団体旅行停止の措置がとられました。(1月27日)
- ・国内では「指定感染症」に指定され、感染者は強制入院の措置がとられるとともに、湖北省からの入国者は水際で拒否されることになりました。(2月1日から)

2. 新型コロナウイルスの特徴

- ・主な症状は発熱、咳、筋肉痛など。
- ・発症者の7割が40歳超の中高齢が多い。
- ・高血圧、糖尿病、血管疾患などの持病があると重症化するリスクが高い。
- ・効果的な治療薬、ワクチンの開発には時間がかかる模様。
- ・当面、症状を和らげる対症療法が中心。
- ・感染はせき、くしゃみのしぶきによる飛沫感染、ウイルスの付着したドアなどの触れた手で鼻や口をさわる接触感染による。
- ・濃厚接触の場合は、2m以内の距離で30分以上経つと感染のリスクが高い。



4. 自分で身を守る予防策

・手洗い

こまめに。せっけんをつけて、念入りに2分半かける。手のひら、手の甲、親指、指間、手首まで洗う。



・マスク着用

鼻から顎まですっぽり覆い、マスクと頬の間に隙間がないようにする。



・アルコール消毒



3. 感染から強制入院までの流れ



※県内 好生館、唐津赤十字病院、東佐賀病院、嬉野医療センター、伊万里有田共立病院
原則個室。部屋外へ空気流出しない構造。排水は独立処理。入院費用は公費による。



佐賀市議会文教福祉委員会との意見交換会 (1月29日)

委員会所属市議 8名、
傍聴市議 2名出席



聴覚障害者団体から社会生活・日常生活でのコミュニケーションがとれないことからの困りごと、手話言語等条例の制定、センターから情報支援者の状況、情報支援機器、身体障害者手帳所持者の推移、安否確認システム等について説明および要望を行いました。

委員からは、手話通訳者の派遣費用、要約筆記者の確保策、多様なコミュニケーションツール、補聴器の購入手順等について質問され、関係団体との意見のやり取りがありました。

派遣については、急に要請されても対応できないことや、専門的な事柄についてはそれなりの技術を持った情報保障が必要となることから、数日前までに資料等の提出をお願いしたい旨の発言がありました。

佐賀市議会として、聴覚障害について今後も問題意識を共有していきたいとの締めくくりがありました。

シリーズ (26) 山口相談医のひと言コメント



耳鳴について その1 耳鳴のメカニズム

耳鳴でお悩みの方、病院を受診する方、かなりおられます。耳鳴の原因は、突発性難聴や脳腫瘍など様々ですが、ここでは特別な病気がない耳鳴について述べたいと思います。

一般的に健康な方であれば耳鳴はない、と認識されていますが、いくつかの研究では、耳鳴はほとんどの方にあると示唆されています。耳鳴がないという方でも、無響音室という、音の反響がほとんどない空間に入ると、80~90%以上の方が耳鳴を自覚したという報告があります。ですが、普通の状態では周囲の音＝環境音にかき消されているというのです。例外もありますが、難聴に伴って耳鳴が増えることから、頷ける報告です。

耳鳴は多くの場合、難聴に伴って生じやすいので、経年変化での難聴に伴う耳鳴というのが、かなり多いと考えられます。実際の外来でも、そのような状態であると思われる耳鳴の方を多く見かけます。聞こえが悪くなると、「身体＝聞こえの神経」はなんとか音をキャッチしようと活動性が高まると考えられています。すると、外部からの音がなくても神経自体の活動性のために擬似的音信号が発せられるようになり、耳鳴の元ができると考えられています。

やや乱暴な言い方になりますが、この時点では、「気にする」ということが絡んでいなければ、はっきりとした自覚には至らないとされています。ところが、「耳鳴」＝「病気!？」という認識が絡んでくると、意識に上ってくるようになり、「耳鳴…病気?…心配」となってくると、耳鳴をより強く意識するようになって、いわば「耳鳴を聞き取ろうとする」状態になっていきます。これが自覚＝病識をもたらす耳鳴のメカニズムと考えられています。
(お断り：メカニズムについては大きく簡素化をしています。)

2020東京オリンピック 聖火ランナーに鶴崎與市郎さんが選ばれました。



1964年に東京オリンピックの聖火リレーランナーの一員として佐賀市東部を走ったのに次いで56年ぶり。5月11日(月)に前回と違って聖火トーチを掲げて走ります。走る市町は3月上旬に決まります。九州各県で聴覚障害者のランナーは沖縄、宮崎各2名、佐賀、鹿児島各1名の合計6名。



佐賀市要約筆記教室 (2月9日)

12月8日から全8回のパソコン要約筆記教室が修了。
4名に修了証書が授与されました。



常識が通用しない イレギュラーな事象が増加している



大災害に備える連続講演会

(1月23日)

講師：佐賀地方気象台
樋口気象情報官

「気象と防災」のテーマで、台風・大雨・地震について、日頃マスコミ相手にTV・ラジオで解説されている分かりやすい語り口で講演がありました。

特に強調されたのは、これまでの常識が通用しなくなってきたイレギュラーな事象が起きており、季節感にとらわれてはいけないこと。今朝も1月としては過去最大の雨、伊万里で54ミリ(1時間最大23ミリ)を記録しています。

従来10月、11月の天候は安定しているものと油断しがちですが、11月に大雨警報が発令されました。雪・雨・温度など大変極端化しています。

気象台が出している1か月、3か月予報や週間予報、その日予報等をHPで入手し、自分の身は自分で守ることに役立ててほしい。



地震等の際の注意点として

- ・かつてトイレが一番安全といわれたが、狭い空間で避難口が塞がれるのでお勧めできないこと。
- ・寝室は低い家具を置き、倒れないようにすること。
- ・自動車運転中は、ゆっくりスピードを落とし、ハザードランプをつけて後続車に知らせること。
- ・P波とS波の到着時間に数秒の差があるので、緊急速報を受けてもあわてず、姿勢を低く頭を保護する手段をとること。

- ・大雨のときは、状況を見て、指定避難所に行くよりも、自宅の2階に上がるなど垂直避難もあり得ること。
- ・津波は秒速10mととても速いので、水深50cmでも立ってられないこと。

などに気をつけてほしい。

- ※小城巡回聴こえの相談 in 牛津公民館(1月22日)
70、80歳代の7名(男性4名・女性3名)の方が、聴力や所有している補聴器に関する相談に来られました。聴力測定の結果を詳しく説明し、必要に応じ補聴器試聴の案内なども行いました。

- 神崎市巡回聴こえの相談 (※要予約)
3月18日(水) 千代田支所 10時~15時
4月22日(水) 脊振公民館 10時~15時

編集後記：春が待ち遠しいです。(な)



佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12(佐賀商工ビル4階)
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

<開館時間>

9:30 ~ 18:00

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始